

共同研究
事例②
テーマ

モバイルウォーターによる環境コミュニケーション ツールとしての活用方法の検討(国際貢献・環境学習)

共同研究者: 日本ベーシック株式会社・川崎市

概要 日本ベーシック㈱が開発した自転車搭載型浄水装置「モバイルウォーター」の国内外での活動事例研究を踏まえ、国際貢献に向けた民間企業の役割、製品の普及方策、市内環境技術の活かし方、行政関与のあり方について研究するとともに、水質浄化に関する環境教育プログラム・教材を作成しました。川崎市は、国際貢献関連主体からの情報収集、取組内容の情報発信、環境教育フィールドやノウハウの提供、日本ベーシック㈱は活動事例等情報の提供、モバイルウォーターを用いた環境教育の実践、国際貢献関連主体とのネットワーク構築のためのセミナー開催等をそれぞれ分担しました。

国際貢献に向けた活用については、国内関連団体等へのヒアリング調査をきっかけに、複数団体が参加するセミナーを開催してネットワークを形成しました。「モバイルウォーター」は、このネットワークを通じて、これまで以上に国際的な水関連機関との連携等が進んでいます。

環境教育については、川崎市発の環境技術を活用した環境教育を複数の市立小中学校で実施し、これらを通じて「モバイルウォーター」による環境コミュニケーションツールとしての活用手法を確立してきました。



日本ベーシック㈱
代表取締役
勝浦 雄一氏

共同研究に参加した感想

事業実施過程での市との話し合いで、水の再資源化や子供への環境教育など、「防災」ではない「環境」という視点からモバイルウォーターを見ることが出来ることに気がきました。川崎市と相互にWIN-WINの関係が築けるメリットも大きいと思います。

共同研究者概要

企業名: 日本ベーシック株式会社
所在地: 川崎市中原区
設立: 2005年5月
資本金: 3,000万円
事業概要: 災害・緊急用浄水機器の研究開発・販売



KAWASAKI CITY
川崎市

共同研究に参加した感想

モバイルウォーターの国内外の活用事例を踏まえ、国際貢献に向けた民間企業の役割、製品の普及方策、市内環境技術の活かし方、行政関与のあり方について検討を進めました。研究成果は、環境技術を有する市内中小企業の国際貢献に向け有用な知見となるものと考えます。